



**ドイツ証券株式会社、  
ドイツ銀行 AG によるサムライ債発行で単独主幹事**

【2007年9月13日、東京】—ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区、社長：デイビッド・ハット）は、本日、ドイツ銀行 AG が日本市場で発行する円建外債（サムライ債）の単独主幹事を務め、同債券を成功裡にローンチした旨を公表しました。なお、ドイツ銀行 AG によるこの度のサムライ債の起債は、2001年5月、2004年2月、2007年3月に続き4回目となります。

本社債は、フランクフルトを本拠とするドイツ銀行 AG のロンドン支店を発行体とした、ドイツ銀行 AG ロンドン支店第5回円貨社債、第2回変動利付円貨社債、第4回円貨社債です。発行額は、各々、300億円、600億円、570億円で、発行総額は1,470億円にのびます。発行価格、払込期日はすべて100円（額面）と2007年9月25日となっています。表面利率等は以下の通りです。

債券	満期	発行金額	表面利率	利払い
第5回円貨債券 (2007)	2017年9月25日	300億円	2.30%	年2回(3、9月の各25日)
第2回変動利付 円貨社債(2007)	2012年9月25日	600億円	3カ月円 LIBOR プラス 0.45%	年4回(3、6、9、12月の各25日)
第4回円貨債券 (2007)	2012年9月25日	570億円	1.77%	年2回(3、9月の各25日)

本社債は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクから Aa1(ダブル A ワン)、スタンダード&プアーズから AA(ダブル A)、フィッチ・レーティングスから AA-(ダブル A マイナス)の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社社長のデイビッド・ハットは、「この度、1,470億円にのぼる大型の起債を支援することが出来、大変光栄に思います。期間5年の固定ならびに変動利付債券に加えて、初めて10年固定債による起債を行ったことで、新しい投資家層の需要を喚起することが出来ました」と述べています。

以 上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は7万5,140人にのぼり、世界75カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては 1,270 名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎 司）、DB 信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部

[www.db.com/japan](http://www.db.com/japan)